

普及活動情勢報告（令和2年9月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

栽培中期の栽培管理について周知 ～甘とう現地検討会を開催～



整枝の要点を講習中

J A高知県高西地区津野山営農経済センターの土佐甘とう部会では、8月21日に栽培中期に重要となる管理作業の周知を目的に、現地検討会を開催しました。篤農家のほ場で開催し、合計10戸の農家が参加しました。

当課からは、着果量を増加・維持させるための整枝管理のポイントや、災害対策についての提案を行いました。農家からは、篤農家の水管理や整枝の時期、尻腐れ果対策等について質問や意見があり、直近で重要となる栽培管理の議論が活発に行われました。

当課は、今後も部会や巡回・生育調査を通じて土佐甘とう部会を支援していきます。

防除用マルチローター（ドローン）始動！ ～水稻用薬剤防除に活用～



ドローン準備運動！

8月24日から、中土佐町大野見の「（農）大野見野の風」が組織組合員の水田を中心に、ドローンにて水稻の病虫害防除を始めました。

「（農）大野見野の風」は、平成28年に組合員の農業生産について協業を図ることにより、生産性の向上や低コスト化等を推進するために法人として設立されています。

今回のドローンも地域からの委託が見込まれる水稻の農作業を効率的に行うため導入され、地域農業のモデルとして期待されています。

管内の集落営農組織として初めての取組みであるため、当課は保守管理部分についても経費を把握し、今後のドローン導入支援の参考にしたいと考えています。また、病虫害防除により、収量アップにつながるよう関係機関と連携して、助言指導を行っていきます。

施設シシトウの植え付けが最盛期！ ～試験展示ほを設置～



環境測定装置を設置

令和3園芸年度の施設シシトウの栽培が始まりました。施設シシトウの定植は8月下旬～9月上旬がピークです。

ハウス内は高温となるため、寒冷紗による遮光や細霧装置による温度抑制に努めるとともに、手灌水による苗の活着を促すなどの管理を行っています。

当課では、そういった定植にともなう管理への助言指導を行うとともに、今年度の試験展示ほを設置するため、環境測定装置の設置や生産者との試験内容の打合せ等を行っています。

今後は、収量アップに向けてJ Aと連携し、助言指導や試験展示ほの調査を行います。

地域の農地をどう守っていくか ～人・農地プラン実質化に向けた集落座談会～



農地の耕作者年齢別に
色分け作業中

中土佐町大野見地区では、人・農地プランの実質化に向け、9月に3カ所で集落座談会が開催され、のべ24名の参加がありました。

当課からは、耕作者の年齢別色分け図の作成支援や今後の農業経営についてのアンケートを実施しました。

参加者のほとんどが、今後5年以上営農を継続する意向がありましたが、地区の大規模水稻農家が作れなくなったら誰がやってくれるのか、という不安の声も聞かれました。

当課では、アンケート結果等を取りまとめ、今後の中土佐町全体での地域農業戦略作成に向けた組織間連携などについての検討を働きかけていきます。

栽培後期の管理について情報共有 ～米ナス現地検討会を開催～



現地検討会の様子

J A高知県高西地区津野山営農経済センターなす部会では、9月15日に現地検討会を開催し、合計9戸（11人）の農家が参加しました。

当課からは、秋口から発生が多くなるすすかび病と灰色かび病の防除方法や今後の栽培管理について説明しました。J Aからは栽培前期の出荷実績や個別選果における注意点などを周知しました。

農家からは、着果管理や追肥方法など成り疲れ後の樹作りについて様々な意見が交わされました。

当課は今後もJ Aと協力し、巡回・調査等を通じて支援していきます。